

## 第19回公安委員会定例会開催状況

### 1 開催日時

令和6年7月25日（木）13時30分～16時30分

### 2 決裁事項

#### (1) 免許の取消し等

警察本部から、免許の取消し事案及び欠格期間等の処分について報告を受け、決裁した。

#### (2) 苦情の調査結果

警察本部から、苦情の調査結果について報告を受け、決裁した。

#### (3) 審査請求の裁決

警察本部から、審査請求の裁決について報告を受け、決裁した。

#### (4) 警察職員の援助要求

警察本部から、警察職員の援助要求について報告を受け、決裁した。

#### (5) 特定抗争指定暴力団等の指定に係る警戒区域（倉敷市）の追加変更

警察本部から、特定抗争指定暴力団等の指定に係る警戒区域（倉敷市）の追加変更について報告を受け、決裁した。

### 3 報告事項

#### (1) 令和6年駐在所勤務者の配偶者に対する表彰受賞者の決定

警察本部から、

○ 本表彰は、多年にわたり駐在所において勤務者と共に生活し、警察業務を支えてきた配偶者に対して感謝状を贈呈するもので、本賞は、昭和49年の県警察発足20周年を機に創設され、これまでに277人が受賞している。

○ この度の受賞者は、総社警察署山手駐在所、笠岡警察署新賀駐在所、同警察署今井駐在所及び新見警察署熊谷駐在所に勤務する警察官の配偶者である。

旨の報告を受けた。

委員が、

「配偶者の方々の献身的な気持ちと、地域住民との交流により支えられて、警察官が職務に専念できることが大変素晴らしいと思った。

駐在所の業務にとって、配偶者の方々の理解や協力は非常に支えになると思うので、今後も制度を活用しながら表彰していただきたい。」

旨を発言した。

(2) 高校生対象の防犯ボランティア体験事業の実施

警察本部から、

- 若い世代による防犯ボランティア活動への参加促進を図るため、次代を担う高校生を対象として、夏休み中に防犯ボランティアの体験事業を実施しており、平成23年冬季に事業を開始して以降、今回で59回目を迎え、延べ784人が参加している。
- 県内の高等学校88校に募集したところ、募集人員40人程度を超える20校51人の応募があった。
- 参加者は8月1日と同月2日に、イオンモール岡山での広報啓発チラシ等の配布や店内アナウンスを活用した広報啓発を体験する。

旨の報告を受けた。

委員が、

「防犯ボランティア活動について、若い世代に参加への意識を持ってもらうことは非常に大切だと思う。

防犯意識の高い高校生を育成することは、防犯ボランティアの後継者育成にもつながり、非常に有効な手段であることから、積極的に参加を促していただきたい。」

旨を発言した。

(3) 令和6年上半期の110番通報受理及び初動警察活動実施状況

警察本部から、

- 上半期の110番通報受理件数は8万8,655件と、前年同期比5,480件(5.8%)減少し、一日の平均受理件数は約487件であった。
- 110番通報受理のうち有効事案は7万4,618件で、交通関係が最も多く全体の34%、次いで要望苦情相談が20%を占めた。
- 緊急配備、初動活動の発令により、事後強盗事件や住居侵入・窃盗事件等を検挙したほか、110番映像通報システムや110番通報支援カメラを活用して適切な受理・指令に努めた。

旨の報告を受けた。

委員が、

「110番映像通報システムについて、映像は現場の情報として非常に有用であることから、さらに初動活動の精度が上がることを期待する。

県民から見れば、110番通報は事件を通報し、犯罪の抑止・検挙につながるものである。今後はDX(デジタルトランスフォーメーション)の活用も検討していただきたい。」

旨を発言した。

(4) 令和6年上半期の刑事事件検挙状況(暫定値)

警察本部から、

- 上半期の刑法犯認知件数は4,420件、検挙件数は1,882件、検挙率は42.6%であった。
- 上半期の重要犯罪認知件数は68件、検挙件数は68件、検挙率は100%であった。
- 上半期の重要窃盗犯認知件数は269件、検挙件数は193件、検挙率は71.7%であった。

旨の報告を受けた。

委員が、

「全国平均と比して検挙率は高いが、当県の課題は自転車盗が多発していることであると思った。

抑止と検挙により、自転車盗に対処していただきたい。また、自転車の鍵掛けに関する広報啓発活動は非常に有用であるので、より一層傾注していただきたい。」

旨を発言した。

(5) 令和6年上半期の組織犯罪事件対策状況(暫定値)

警察本部から、

- 上半期の特殊詐欺認知件数は78件、検挙件数は41件、検挙率は52.6%で、預貯金詐欺が大幅に減少した。
- 上半期の暴力団等の検挙件数・人員は48件54人であった。
- 上半期の薬物事犯の検挙人員は覚醒剤が44人、大麻が54人であった。

旨の報告を受けた。

委員が、

「SNS型投資・ロマンス詐欺の被害の年齢層は、40歳代から60歳代の世代であり、被害額も大きいことから、特殊詐欺と同様、徹底的に取り締まっていただきたい。

違法薬物への依存や薬物乱用の危険性について、若年層に対し積極的に広報啓発をしていただきたい。」

旨を発言した。

(6) 和気町地内障害者施設で発生 of 傷害事件 of その後の対応

警察本部から、和気町地内障害者施設で発生 of 傷害事件 of その後の対応について報告を受けた。

(7) 行政訴訟事件 of 判決結果

警察本部から、行政訴訟事件 of 判決結果について報告を受けた。

(8) 制服警察官に係る熱中症対策用品 of 装着

警察本部から、制服警察官に係る熱中症対策用品 of 装着について報告を受けた。

(9) 令和6年度県下通信指令・無線通話技能競技大会 of 開催結果

警察本部から、令和6年度県下通信指令・無線通話技能競技大会 of 開催結果について報告を受けた。

(10) 国際化対策推進広報用ポスター優秀作品表彰式 of 開催

警察本部から、国際化対策推進広報用ポスター優秀作品表彰式 of 開催について報告を受けた。

4 次回公安委員会

令和6年8月1日（木）13時00分から開催予定